日本キリスト教団 東金教会〔２５〕

2020年6月21日聖霊降臨節第４主日礼拝

年度目標　《教会の民として生きる》

聖　句　良いし知らせをエルサレムに伝える者よ。声をあげよ、恐れるな　イザヤ書４０章９節

【礼拝式次第】

司式	宮中	中里
奏楽	中今	井
受付		王
案内		田
名札係	武岡	村上
礼拝感謝祈祷	井	
〃　〃		
前奏	中	里
讃美歌	２４	一同
使徒信条	５６６	〃
交読文	２３	司・会衆
主の祈り	５６４	一同
聖書	司会者	
〈マルコ福音書１章40節～45節〉		
祈祷	宮	中
新聖歌	１８３	一同
み言葉の伝え	中	村
〈隠れるイエス〉		
讃美歌	５３６	一同
献金		
礼拝感謝	岡	村
〃　〃	井	上
報告	宮	中
頌栄	５４１	一同
祝祷(派遣)	中	村
後奏	新聖歌５８	聖歌隊

【集会案内】

聖研祈祷会６月２４日(水)１９:３０～
早天祈祷会 月～土7時(除木曜・祭日)メーヤー館
教会総会本日礼拝後
聖書輪読会 ６月２８日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷 ６月２８日(日)10:25-10:30

【報告】

☆本日は教会定期総会です。教会員はお残り下さい。陪席を希望される方は中村牧師まで申出下さい。

☆６月28日は千葉支区諸教会を覚えての「千葉支区の日」(第二献金があります)です。又、６月２９日(月)は支区伝道協議会が「伝道推進と教団機構改正」のテーマにより千葉教会で持たれます。

☆2020年4月19日より開始したマルコ福音書連続講解説教のCD希望者は牧師まで申出下さい。

【定期長老会報告】

日時…６月１４日　場所…銀杏ルーム
出席…中村牧師　藤田　(書記)　井上
武田　宮中　森川
議事…①教会総会資料確認の件　②行事予定‥教会学校一泊キャンプ(7/29～30)の中止)　③その他 ---大網伝道所の現状及び再建への東金教会の援助について　牧師招聘委員会報告---7/20メーヤー館において神保望校長をお招きし委員会を持つ予定---井上健招聘委員長より報告

○公告・教会総会開催について
日時…６月２１日
場所…東金教会第一会堂

【6月21日～27日の誕生者】

○6/21秋原　姉　○6/22斉藤　姉
○6/22于　姉　※互いに主に繋がる枝です。祈り合わせて行きましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(6/14)	16	28	44
聖研祈祷会(6/17	3	1	4
聖書輪読会(6/14	2	2	7
教会学校(6/14)	3	15	18

早天祈祷会

日	男	女	計
6/15	3	2	5
6/16	3	1	4
6/17	3	1	4
6/19	2	1	3
6/20	3	1	4

主日礼拝献金(６/１４)……３８,０００円
教会学校献金(６/１４)……６,７５０円

【今日のメッセージ】

題　〈隠れるイエス〉
聖　書　マルコ福音書1:２９～３９
1・あなただけが

2・心を見極めるイエス

3・隠れるイエス

【次週(６月２８日)礼拝式案内】

み言葉の伝え　〈どちらが易しいか〉
聖　書 マルコ福音書１：～
交読文２４
讃美歌２８番　５１３番
新聖歌２６３番

【次週(６月２８日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え …	中村
司式者 …	藤田
奏楽者 …	中村
受付者 …	王
案内者 …	三枝
名札当番 …	井上
礼拝感謝祈祷 …	戸波
〃　〃 …	藤田
cs お話し …	中村
会堂清掃者 …	武田
〃　〃 …	
花係 …	小林
看板書き …	藤田

【聖書から】

夕方になって日が沈むと、人々は、病人や悪霊に取りつかれた者を皆、イエスのもとに連れてきた。

マルコによる福音書一章三二節

夕方、それは人の苦しみ、悲しみを呼び起こす時である。日中はまだ良い。手に職を持っている者はその職を、額に汗して耕す者は、あれこれの心配を忘れ、ひたすら耕作に従事する。雇われた者、自営の者も生活の資金を稼ぐに懸命である。彼らは思いに耽ることなく目の前の業に勤しむのである。けれども夕方になると脇にどけていた煩いが顔をだす。もし、煩いごとが何とか己の手で解決できるようなものならばため息を吐きつつその解決のために人は心とからだを労する。けれども人間の営みは自分の手に余るもの、ため息を吐くほかは何もできないものがある。そういうとき人はどうするのか。どうしようもなくその心配を封じ込めまるで何事もないかのように過ごす…。それが私達多くの者の現実である。しかしこの時、カファルナムの人達は聴き、見たのである。その声は力に満ち、人に慰めを与え、希望を与えるに充分な確信に満ちた声であり、その業は悪霊を追い出す霊的力に満ちていた。彼らは諦めることを乗り越えさせる神の力を経験した。そしてその時、彼らは諦めの封印を解き、隠し持った煩いをひとりの人、イエス・キリストの前にさらけ出したのである。それが此処での私達が知ることである。しかし現代の私達にはそれに更に付け加える失望がある。それはそのような癒しをあたえてくださるイエスはもはや私達の前にはいないと思えることである。それ故私たちはかってのカファルナウムの人たちと同じように自らの憂いを自らの内に閉じ込め生きようとする。けれども聖書はいう。前と今は違うと。目に見えず、その御声は聴くことができないように思う。けれども私達の心を掘り起こし、心の奥底の神殿に住まわれるイエスに会うことを許されたとき、私達はかってのカファルナムの人と同じように神の力の経験をするのである

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。